

# 現状横ばいも、今後は悪化を予想

冬場受注減・原材料価格高騰が主原因か

## 景気見通し調査

○調査概要／管内小規模事業所の短期的な景気動向を把握するために、年4回実施。

○調査時期／平成19年12月3日～6日

○調査対象／福井商工会議所 会員小規模事業所 約2,300社

○回答企業／266社(回収率11.6%)

【内訳】  
製造業66社／建設業63社／卸・小売業65社／サービス・その他72社

DI値とは…デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「良」「増加」「好転」したとする企業割合から、「悪い」「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

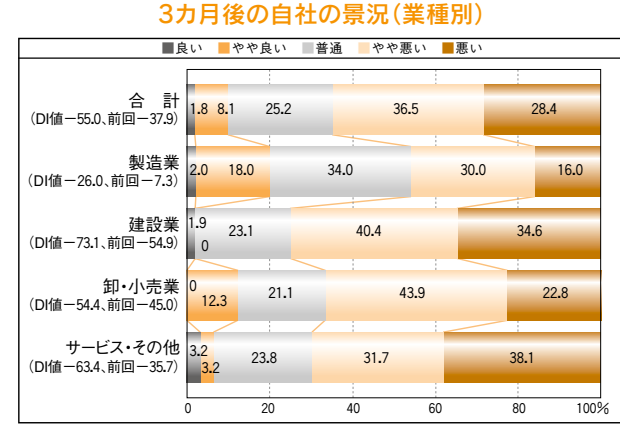
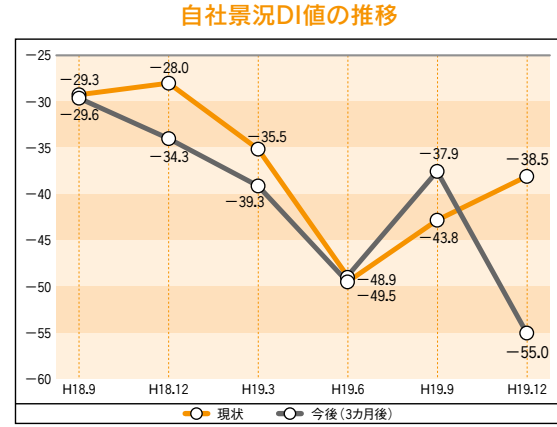
## 調査結果概要

『自社の景況』『売上』といった指標で前回調査よりも改善が見られる一方で、『業界の景況』『採算』の指標では若干悪化するというように、はつきりとした『悪化』『回復』の傾向は見られなかった。企業の景況感前回同様横ばいの傾向にあるといえよう。しかし、『今後3カ月の予想』では、どの指標で

## 自社の景況

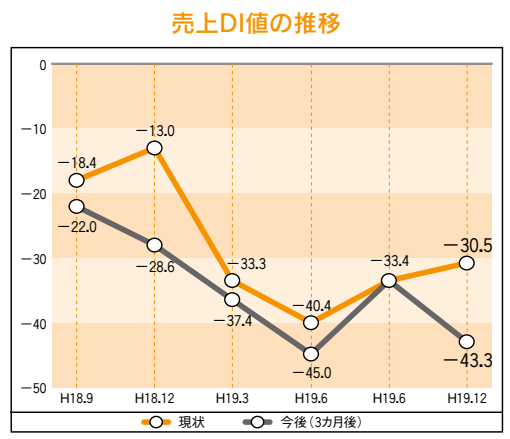
自社の景況をみると、『現在』の自社の景況は前回調査よりも向上しているが、『今後3カ月の予想』では大幅に下落しており、先行きの悪化を予想している。

業種別で見ると、『現在』では『サービス業・その他』以外はDI値が回復した。特に『製造業』は前回に引き続き大幅にDI値を上昇させている。一方『3ヶ月後の予想』では、全ての業種で悪化を予想している。



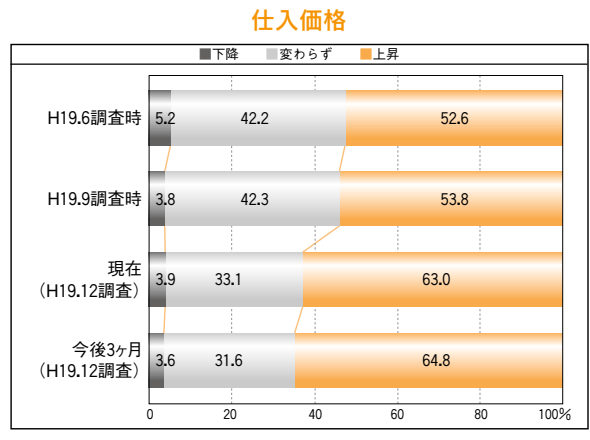
## 売上(受注高)

売上(受注高)についても、『現在』の数値は前回を上回った。しかし、『3カ月後の予想』では悪化を予想している。業種別に見ると、『現在』の売上では『製造業』『卸・小売業』で前回よりも好転しており、逆に『建設業』『サービス業・その他』で悪化している。なお、『今後3カ月の予想』では全ての業種でDI値が前回を下回った。



## 仕入価格

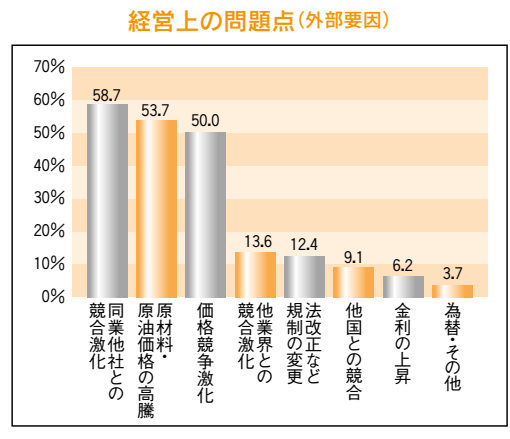
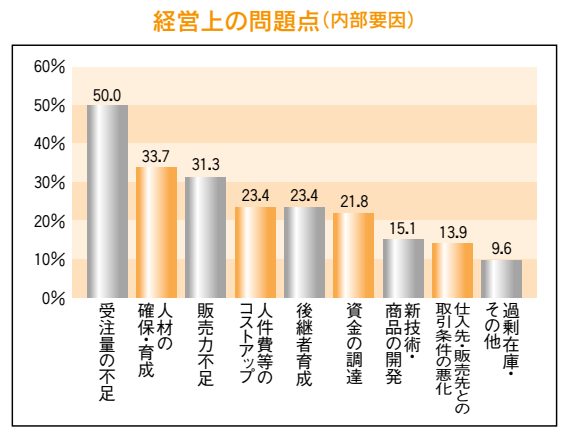
仕入価格は6割以上が『上昇』していると回答している。『今後3ヶ月』で



見ても、6割以上がさらに上昇すると予想しており、企業の先行きに暗い影を落としている。

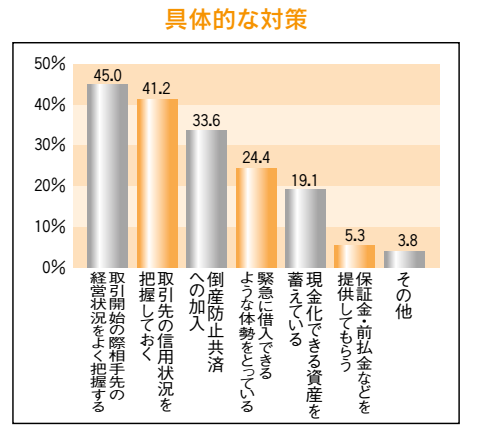
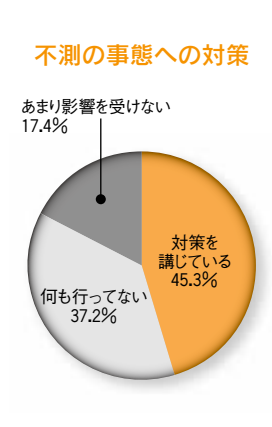
## 経営上の問題点(複数回答)

経営上の問題点を内部要因と外部要因とに分けて尋ねたところ、内部要因としては『受注量の不足』を、外部要因としては『同業他社との競争激化』『原材料・原油価格の高騰』『価格競争激化』を過半数以上の企業が問題点として挙げていた。特に『原材料・原油価格の高騰』は前回調査よりも12.5ポイント上昇し、今回初めて過半数を超えた。



## 倒産等不測の事態への対策

本年度は、企業の倒産件数が非常に多くなっているが、こうした取引先の不測の事態への対策を講じているかを



本調査の詳細については、福井商工会議所経営支援課(TEL0776-3318288)までお問い合わせください。